

「マル青」の医療費助成制度、都内全域で4月から運用開始

これまでの「マル乳」「マル子」に加えて、15歳から18歳(高校に在学していない者も含む)までの医療費を助成する制度である「高校生等医療費助成制度(マル青)」の運用が都内全域で4月から開始される。この制度では、医療費の窓口負担となる3割に対して、所得制限を設け、通院1回につき最大200円までの窓口負担を除いた額を東京都が時限的(2025年度まで)に負担することになっている。その上で、各自治体が独自に所得制限や窓口負担の撤廃を行っている。

自治体にアンケートを実施

拡充の動き徐々に、一方で財源的厳しさも

当会では、「通院1回につき最大200円まで」の窓口負担が残る23の自治体に対して、2022年12月に「子ども医療費の助成制度実施に関するアンケート」と題して調査を行った。「1回の受診につき、上限200円の窓口負担分」について、市町村が独自で助成制度を実施する予定があるかどうかを聞くと、約9割の自治体において「実施予定がない・できない」と回答があった。

理由としては、「財源的に厳しい」という声が約6割を占めた。その他には、「独自で助成制度の実施をしたいができていない」、「自治体の財政力により助成内容に差がある現状の改善が必要と感じる」という声も寄せられ、自治体独自で子どもに対する医療費の助成に財源を捻出することに限界があることが明らかになった(アンケート結果は協会ホームページを参照)。このような中でも自治体の努力により、子どもに対する医療費助成制度は、拡充の動きが各地で徐々に広がっている。

17年に当会が実施した「学校歯科治療調査」では、学校歯科検診で要受診と診断された後の歯科医院への受診率が多摩地区で最も低く、「口腔内が崩壊状態と考えられる子どもがいた」と回答した学校の割合也多摩地区で多くなっていた。

これらの結果から、「通院1回につき最大200円まで」の窓口負担の存在が受診抑制の1つの要因となっており、23区に比べ、多摩地区の子どもの健康が守りにくくなっている実情が明らかになった。これらの実証データ等をもとに、協会では東京都に「子どもに対する医療費助成制度」の改善要求を毎年行っている。

今後も協会は、「各自治体に対する財政的支援の恒久化」と「地域間格差の是正」を東京都に求めていく。さらに、「すべての子どもが平等にお金の心配をせずに医療を受けられるようにすること」を国に訴えていく(「学校歯科治療調査2018」の結果はQRよりアクセス)。



医療証の表記に注意

窓口では必ず原本確認を

制度の略称

(青) マル青 (あお)

医療証(マル青)の公費の法別番号は「89」から始まり、窓口負担があるものとないものに分かれる(表「公費負担者番号と窓口負担」参照)。また、助成制度はマイナンバーカードによるオンライン資格確認には対応しておらず、医療証での確認が必要となるため、窓口で必ず確認していただきたい(図「医療証の見本」参照)。なお、檜原村(89137541・89135545)および奥多摩町(89137558・89135552)の患者の場合は、9月までは償還払いとなるため、負担者番号および発行元の市区町村名をご確認いただきたい。

表：公費負担者番号と窓口負担

公費負担者番号	窓口負担の有無 ※1	対象 ※2
89135●●●	なし	23区の患者または一部市町村の患者
89137●●●		
89131●●●	あり (1回の受診につき200円(上限))	上記以外の市町村の患者
89134●●●		

※1：外来通院の場合の取り扱い。

※2：各区市町村の取り扱いの詳細は、以下の『東京都内区市町村における「子ども医療費助成制度」の窓口負担・所得制限等の2023年度からの状況』を参照。

図：医療証の見本(東京都福祉保健局『「(青)高校生等医療費助成制度」のご案内』より引用)

窓口負担の有無を確認

窓口負担がある医療証				窓口負担がない医療証			
(青) 医療証 通院負担有(200円)				(青) 医療証			
負担者番号	8	9	1	3	8	9	1
受給者番号							

※右上に「通院負担有(200円)」の記載あり

※右上に記載なし

東京都内区市町村における「子ども医療費助成制度」の窓口負担・所得制限等の2023年度からの状況

- ：窓口負担・所得制限なし(入院時食事代の補助あり)※豊島区の入院時食事代の補助はマル乳のみ
- ：窓口負担・所得制限なし ※青梅市はマル青は窓口負担 200 円、所得制限あり
- ：窓口負担なし・所得制限あり ※日野市はマル青は窓口負担 200 円、所得制限あり
- ：窓口負担 200 円あり・所得制限なし
※八王子市、町田市、羽村市はマル青は所得制限あり、小金井市、狛江市は小学校 6 年生まで、小平市は小学校 3 年生まで
※国立市は入院時食事代の補助あり
- ：窓口負担 200 円あり・所得制限あり
※東久留米市は 0 歳のみ、武蔵村山市はマル乳のみ入院時食事代の補助あり

